

# 常葉大学 第12回 多言語レシテーション大会 2025

日時：2025年12月13日（土）13:00～17:10

会場：常葉大学 静岡草薙キャンパス A棟2階 A201 教室

## プログラム | Program Schedule

時刻	内容
13:00～13:05	<b>開会式</b> 挨拶：外国語学部長 増井 実子
13:05～14:05	<b>レシテーション【ソロ部門】</b> スペイン語 → 中国語 → ポルトガル語 → 韓国語
14:05～14:20	<b>休憩</b>
14:20～15:20	<b>レシテーション【ペア部門】</b> スペイン語 → 中国語 → ポルトガル語 → 韓国語
15:20～15:35	<b>休憩（交流会準備）</b>
15:35～16:20	<b>交流会</b>
16:20～16:35	<b>休憩（表彰式準備）</b>
16:35～17:05	<b>表彰式</b> 学部長による授与 審査員による講評
17:05～17:10	<b>閉会式</b> 挨拶：外国語学部グローバルコミュニケーション学科 学科長 崔 慶原

## 開催のごあいさつ| Message from the Dean

声と身体を解き放とう

常葉大学外国語学部長  
増井実子

今年も『多言語レシテーション大会』を開催できることを、心からうれしく思います。

レシテーション（暗誦）とは、既存の文章や詩・台詞などを、正確に暗記・再現するのではなく、意味や感情を理解したうえで音声表現する活動です。つまりレシテーションは、単なる記憶力の競争ではなく、『書かれた言葉を自分の身体で表現する』創造的な学びなのです。紙の上の言葉が、皆さんの声と身体に宿り、今日この壇上で花開く、そんなイメージを私は持っています。抑揚や間、視線、そして短い沈黙までもが意味を帯び、言語の壁をこえて聴き手の心に届きます。

ここ数年で急速に汎用化した生成AIは、無数の文章を均質に生み出すことができます。しかし、声による表現は、その瞬間、その人だけにしか生まれない一回きりのものです。小さな声の震えや息継ぎのゆらぎ、そして言い間違いでさえも、今日この場でしか生まれない、あなただけの表現です。どうか失敗を恐れず、自分の解釈に自信を持って、声と身体を解き放ってください。

『多言語レシテーション大会』は、順位を競う場であると同時に、互いの表現から学び合う場でもあります。高校生と大学生が同じ舞台に立つことで、学習歴の違いを越えて外国語を学ぶ輪が広がります。心を動かされた発表には、ぜひ惜しみない拍手を送ってください。拍手と敬意が、この会場を最良の教室にしてくれるはずです。また、大会後には交流会も予定しています。今回の工夫や努力を語り合い、次の挑戦へのヒントを持ち帰ってください。

最後に、出場者の皆さん、準備を担ってくださった本学の教職員・学生スタッフ、審査員の皆さん、ご指導くださった高校の先生方に、心より感謝申し上げます。今日の経験が、皆さんの外国語の学びと表現を、もう一段深める出発点となることを心から願っています。

## 出場者 | Participants (★ = 二言語出場者)

	1.ソロ部門	2.ペア部門
<b>スペイン語</b> <b>Spanish</b> ソロ部門 (8名) ペア部門 (2組)	S1-1 高橋 明美(吉原高等学校 1年) S1-2 田邊 凜人(創志学園高等学校 2年) S1-3 深澤 杏香(GC学科 1年)★ S1-4 木下 利彩(GC学科 2年) S1-5 吉田 啓人(GC学科 2年) S1-6 若林 香菜子(GC学科 2年) S1-7 SHIMABUCO BEATRIZ MIDORI (GC学科 2年) S1-8 小玉 日遙乃(GC学科 3年)★	S2-1 最弱の2人 (山城 賢太・田方農業高等学校 3年/ 尾川 雄記・田方農業高等学校 3年) S2-2 Las fresitas (大木 萌々華・GC学科 4年 / 望月 来瞳・GC学科 4年)

	1.ソロ部門	2.ペア部門
<b>中国語</b> <b>Chinese</b> ソロ部門 (9名) ペア部門 (0組)	C1-1 鈴井 美花(掛川東高等学校 1年) C1-2 山崎 深月(静岡城北高等学校 2年) C1-3 多田 愛香(静岡城北高等学校 2年) C1-4 馬場 一咲(静岡城北高等学校 2年) C1-5 斎藤 未結(静岡城北高等学校 2年) C1-6 鶴巻 恵璃(静岡城北高等学校 2年) C1-7 井口 実結(田方農業高等学校 3年) C1-8 岡本 美月(GC学科 1年)★ C1-9 佐藤 未紗希(GC学科 2年)	出場ペアなし

	1.ソロ部門	2.ペア部門
<b>ポルトガル語</b> <b>Portuguese</b> ソロ部門 (6名) ペア部門 (3組)	P1-1 星野 ユカ(吉原高等学校 1年) P1-2 白川 巧弥(GC学科 1年) P1-3 荻野 莉紗(GC学科 2年) P1-4 佐野 紗香(GC学科 2年) P1-5 横下 友菜(GC学科 3年) P1-6 見機 義良(GC学科 3年)	P2-1 Amizade チーム (阿部 柑菜・GC学科 1年/ 大石 ひらり・GC学科 1年) P2-2 Broto (浅井 心優・GC学科 1年/ 内山 愛葵・GC学科 1年) P2-3 Pão de melão (依田 麻唯・GC学科 2年 / 渡邊 望・GC学科 2年)

	1.ソロ部門	2.ペア部門
<b>韓国語</b> <b>Korean</b>	K1-1 佐藤 羽音(田方農業高等学校 3 年) K1-2 岡本 美月(GC 学科 1 年)★ K1-3 深澤 杏香(GC 学科 1 年)★ K1-4 岡村 瑞姫(GC 学科 2 年) K1-5 二羽 杏実(GC 学科 2 年) K1-6 三俣 花(GC 学科 2 年) K1-7 小玉 日遙乃(GC 学科 3 年)★ K1-8 矢川 愛華(GC 学科 3 年) K1-9 落合 優音(GC 学科 4 年)	K2-1 へばらぎ (登崎 心晴・静岡城北高等学校 2 年 / 望月 瑠花・静岡城北高等学校 2 年) K2-2 김밥 (遠藤 百恵・吉原高等学校 2 年 / 諸星 玲奈・吉原高等学校 1 年) K2-3 여자친구 (田邊 莉々華・GC 学科 1 年 / 寺井 心優・GC 学科 1 年) K2-4 싸우지만 사이는 좋다 (畠中 里佳・GC 学科 2 年 / 鈴木 李香・GC 学科 2 年) K2-5 부석 다시왔다 (磯部 遥菜・GC 学科 2 年 / 福田 りお・GC 学科 2 年)
ソロ部門 (9 名)		
ペア部門 (5 組)		

ソロ部門のべ 21 名、ペア部門 12 組(24 名)、合計 42 名 (うち 2 言語出場者 3 名)

## 関係者 | Staff

### 審査員

韓国語：崔 慶原（常葉大学教員）、柳 采延（常葉大学教員）

スペイン語：フランシスコ・トラルバ（常葉大学非常勤講師）、増井 実子（常葉大学教員）

中国語：張 盛開（静岡大学人文社会科学部教授）、戸田 裕司（常葉大学教員）

ポルトガル語：ホザンジエラ 岩瀬（常葉大学非常勤講師）、江口 佳子（常葉大学教員）

### 学生実行委員

[実行委員長] 清水 美緒

[実行委員] 一圓 天舞、鈴木 来奈、磯部 遥菜、大石 司子、福田 りお、松本 凜、藁科 はるな

[ビデオ撮影及び編集] 萩野 莉紗、鍵山 花奈乃

[ボランティア] (1 年) 阿部 柑菜、市川 桜爽、川合 萌、柴 奈乃美、田邊 莉々華、寺井 心優

### 教職員

江口 佳子(統括・学生補助)、柳 采延（学生実行委員）崔 慶原(チラシデザイン)、三村 友美(会計)、谷 誠司(編集・審査)、増井 実子(高校、高校生参加証明書)、若松 大祐（入学前プログラム）

スペイン語ソロ部門 課題文  
Cantares Populares — 民衆の歌

今年の課題は、スペイン文学の珠玉『Leyendas Espa olas』（スペイン伝説集）内の作品『La Venta de los Gatos』（はたご屋「猫」）に収録されている、アンダルシアの口承の詩歌 2 点を、ソロ部門の課題文として、抜粋いたしました。

自身もスペイン・セビリアに生まれ、文学を志しマドリードに出たものの、肺を病み、貧苦のうちに短い生涯を終えたロマン派の詩人、Gustavo Adolfo B quer(1803-1870)が作品中で伝えている、アンダルシアのことばの魅力を、皆さんとも共有できれば幸いです。

★スペイン語の課題

Compa erillo del alma,  
Mira qu  bonita era:  
Se parec  a la Virgen  
de Consolaci n de Utrera.

En el carro de los muertos  
ha pasado por aqu ;  
llevaba una mano fuera;  
por ella la conoc .

★日本語の意味

心の友よ、  
あの娘がどんなに美しかったか見ておくれ  
ウトレラの慰めの  
聖母様のようだつた。

弔いの馬車に乗つて  
あの娘がここを通つて行つた  
片手が外に出ていたので  
それであの娘だとわかつたのさ。

※ Utrera ウトレラ セビリアの南 30 kmにある町の名前

文責： 三村友美

スペイン語ペア部門 課題文  
Palabras para ser libres — 自由になるための言葉

今年の課題は、スペイン映画『La lengua de las mariposas』（邦題：蝶の舌）に着想を得たレシテーション大会用オリジナル課題です。A/B で交互に暗唱し、このシーンを表現してください。

★舞台設定

放課後の教室（あるいは図書室）。

先生 A（モデルはドン・グレゴリオ）と生徒 B（モデルはモンチョ）が、「読書ことばの力」について静かに語りあっています。

先生 A は「ことば＝自由の道具」という価値観を、やさしい語彙で反復しながら生徒 B に伝えます。

「todavía（まだ）」「gracias（ありがとう）」など、日常でよく使うことばの奥にある深い意味を考えさせられるシーンです。

★スペイン語の課題

A（先生）× B（生徒）

A: ¿Sabes por qué／ cuidamos las palabras? //

B: Para sacar buenas notas…／ ¿no? //

A: También.／ Sobre todo,／ para ser libres. //

B: ¿Libres como los pájaros? //

A: Libres como quien elige／ y entiende. //

B: A veces me da miedo／ equivocarme. //

A: El error enseña／ si lo miras de frente. //

B: ¿Y si se ríen de mí? //

A: Ríe con ellos…／ y sigue. //

B: Profe,／ ¿qué palabra le gusta más? //

A: "Gracias".／ Abre puertas／ sin llave. //

B: La mía es "todavía". //

A: Buena palabra:／ deja espacio al futuro. //

B: Todavía me cuesta／ leer en voz alta. //

A: Respira,／ marca comas,／ y comparte el sentido. //

B: ¿Puedo elegir un libro? //

A: Elige uno／ que te haga preguntas. //

B: Entonces…／ el de las mariposas. //

A: Llévalo.／ Trátalo como a un amigo. //

B: Prometo devolverlo…／ y entender un poco más. //

[UNÍSONO] Las palabras nos cuidan／ si las cuidamos. //



【画像：場面のイメージ】

記号：／=短い息継ぎ、// =文末の長めの息継ぎ、…=ためらいや余韻

[UNÍSONO]=ユニゾン（2人一緒に）

## ★日本語の意味

A(先生)：どうして言葉を大切にするのか、わかる？

B(生徒)：いい成績のため…ですよね？

A：それもね。でもいちばんは、自由になるためだ。

B：鳥みたいに自由？

A：自分で選び、理解できる自由だよ。

B：ときどき、まちがえるのが怖いです。

A：正面から向き合えば、失敗は先生になる。

B：みんなに笑われたら？

A：いつしょに笑って…それでも前へ進みなさい。

B：先生、いちばん好きな言葉は何ですか？

A：「gracias（ありがとう）」だ。鍵がなくても扉を開いてくれる。

B：ぼくは「todavía（まだ）」。

A：いい言葉だ。未来に余白を残してくれる。

B：ぼくはまだ音読が苦手で……。

A：息をして、コンマで区切って、意味を分かち合おう。

B：本、選んでもいいですか？

A：君に問い合わせてくる本を選びなさい。

B：じゃあ…「ちょうどよ」の本にします。

A：持つていきなさい。友だちのように大切にね。

B：ちゃんと返します…そして、もう少しわかるようになります。

【A+B一緒に】 言葉を大切にすれば、言葉も私たちを守ってくれる。

## ★映画『La lengua de las mariposas』（邦題：蝶の舌）とは

○1999年公開、ホセ・ルイス・クエルダ監督の名作。1936年のガリシアを舞台に、内気な少年モンチョと博識で温かい教師ドン・グレゴリオの交流を描いています。主演はフェルナンド・フェルナン・ゴメス、マヌエル・ロサノ。物語はスペイン内戦の勃発とともに少年の“成長”と“喪失”が交差します。

○原作：作家マヌエル・リバスの短編集『¿Qué me quieres, amor?』所収の複数短編（ガリシア語「A lingua das bolboretas」等）に基づきます。

○受賞：第14回ゴヤ賞 脚色賞（アダプテッド・スクリーンプレイ）受賞。

作成：編集 増井実子

2025年度 中國語【ソロ部門】

《涼州詞二首 其一》 王翰 《Liángzhōucí èrshǒu qíyī》 Wáng Hàn

葡萄美酒夜光杯	Pú táo měi jiǔ yè guāng bēi	葡萄のうま酒 夜光の杯
欲飲琵琶马上催	Yù yǐn pí pá mǎ shàng cuī	飲もうとすると 琵琶が馬上で興を添える
醉卧沙場君莫笑	Zuì wò shā chǎng jūn mò xiào	酔いつぶれて砂地に臥しても 君よ笑ってくれるな
古来征战几人回	Gǔ lái zhēng zhàn jǐ rén huí	昔から戦に出て 帰った者はどれほどいたか

(宇野直人『漢詩をよむ—漢詩の来た道(唐代前半)』日本放送出版協会, 2009年)

[解説]

世界帝国・唐の最盛期に作られた詩だけあって、ブドウ酒や西域特産の玉(ぎょく)で作られた「夜光杯」など、エキゾチックで煌びやかなフレーズで幕を開ける。3行目の「沙場」は直接的には砂漠=中国の西に広がるタクラマカン砂漠や中央アジアのステップ地帯を指すが、この地はまさに唐王朝と遊牧民との抗争の地であった。世界帝国の威光は、実は多くの名もなき兵士たちの恐怖心を燃料として輝いていたことを、この詩人は知っていた。

今に至るまでこの詩が、中国(そして日本でも)愛唱されてきたのは、なぜであろうか。戦争に巻き込まれる哀れな庶民への同情というだけではあるまい。人は時として与えられた大きな目的のために、何かで自分をごまかしながら、気が進まぬことをやらざるを得ない状況に置かれてしまう。そのような日々の想いに引き付けて読み込むことができるところに、この詩の人気の秘密がある。

## 2025年度 中国語 ペア部門

戯曲《终身大事》が発表された 1919 年、すでに清朝も滅び、中国も近代に突入していました。しかし、社会通念や人々のものの考え方は、なお伝統的な観念に縛られていきました。例えば、男女の恋愛や結婚も本人の自由というわけには行ず、何かと制約の多い世の中でした。

胡適(1892-1962)は近代中国を代表する思想家の 1 人で、極めて堅いイメージの人です。しかしこの戯曲を読むと、まだ 30 歳前であったということもあるのか、バリバリの自由恋愛論者として常識に挑戦しています。彼はこの戯曲を通じて、伝統に縛られた結婚の在り方がいかに滑稽であるかを世に示そうとしました。本年度は、その戯曲の 1 部分を課題文にしてみました。

田女士(田嬢/田亜梅)は昔からの友達の陳さんと結婚しようとしますが、父親(田先生/田氏)・母親(田太太/田夫人)から大反対されます。ここでは主に父親の言い分、つまり田家と陳家は『論語』の時代から同姓と見なされてきたので結婚はできない、をめぐる諍いが書かれています。“伝統”を代表する年配者の田先生は大まじめに、娘の思慮のなさを諭しているのですが、若者を代表している田女士(田嬢)の目には全くの“謎理論”です。東アジアの近代化という大きな図式の話はさておいて、差し当たりはテンポの良い 2 人の応酬を楽しんでください。(1 回だけ母親も登場しますが。)

### 胡适《终身大事——游戏的喜剧》

田先生 好孩子，你出洋长久了，竟把中国的风俗规矩全都忘了。你连祖宗定下的祠规都不记得了。

田女士 我同陈家结婚，犯了那一条祠规？

田先生 我拿给你看。 (站起来从饭厅边进去)

田太太 我想不出什么。阿弥陀佛，这样也好，只要他不肯许就是了。

田女士 (低头细想，忽然抬头显出决心的神气) 我知道怎么办了。

田先生 (捧着一大部族谱进来) 你瞧，这是我们的族谱。 (翻开书页，乱堆在桌上) 你瞧，我们田家两千五百年的祖宗，可有一个姓田和姓陈的结亲？

### 胡適『お笑い喜劇 結婚騒動』

田氏 いいかい亜梅や、おまえは長いこと外国に行つとるうちに、中国の風俗習慣をすっかり忘れてしまったようだな。お前はご先祖さまがお取り決めになった祖廟の規定すら忘れちまつとる。

田嬢 私が陳家と結婚するのが、祖廟の規定の第何条に違反するっていうの？

田氏 ならば見せてやろう。(立ち上がり食堂に入っていく)

田夫人 あたくしは何だかさっぱりわからない。ナムアミダブツ。でもいいわ、あの人が反対してくれさえすればそれでいいわ。

田嬢 (俯いて考えこんでいる。突然、顔をあげ決心の色を現し) そうだわ、そうすれば良いのよ。

田氏 (大きな族譜を 1 冊かかえて登場) ごらん、これが我が家の族譜だ。(ページを開き、ドサッとテーブルに広げ) ごらん、我が田家代々 2500 年のご先祖さまのうち、1 人だって田姓で陳姓の者と結婚した者がおるか？

<p>田女士 为什么姓田的不能和姓陈的结婚呢?</p> <p>田先生 因为中国的风俗不准同姓的结婚。</p> <p>田女士 我们并不同姓。他家姓陈, 我家姓田。</p> <p>田先生 我们是同姓的。中国古时的人把陈字和田字读成一样的音。我们的姓有时写作田字, 有时写作陈字, 其实是一样的。你小时候读过《论语》吗?</p> <p>田女士 读过的, 不太记得了。</p>	<p>田嬢 どうして田姓の者は陳姓の者と結婚できないの?</p> <p>田氏 中国の習慣では同姓の結婚は許されんからだ。</p> <p>田嬢 私たちべつに同姓じゃないわ。彼の家は陳だし、我家は田よ。</p> <p>田氏 いや、同姓なのだ。中国古代の人間は、陳という字と田という字を同じ発音で読んでいた。われわれの姓は、田の字を書くこともあり、時には陳の字を書くことがあるが、実際は同じことなのだ。おまえは小さいころ『論語』を読んだことがあるだろ?</p> <p>田嬢 あるわ、あんまりよく覚えていないけど。</p>
--	---

- 青文字部分は、役名とセリフの補足の部分ですので、暗唱しなくて構いません。
- 訳文は、藤井省三(編)『笑いの共和国—中国ユーモア文学傑作選—』(白水社、1992年)に拠りました。日本語訳で17頁ほどの短編ですので、ぜひ全体も読んでみてください。なお、横書きに変えたため、漢数字を算用数字に変えた箇所があります。
- 『終身大事』原文の中国語原文を別紙(別ファイル)で示しておきます。訳本とあわせて参考にしてください。

“Canção”

Cecília Meireles

Pus o meu sonho num navio  
e o navio em cima do mar;  
- depois, abri o mar com as mãos,  
para o meu sonho naufragar

Minhas mãos ainda estão molhadas  
do azul das ondas entreabertas,  
e a cor que escorre de meus dedos  
colore as areias desertas.

O vento vem vindo de longe,  
a noite se curva de frio;  
debaixo da água vai morrendo  
meu sonho, dentro de um navio...

「歌」

セシリ亞・メイレーリス

私の夢を船に乗せ  
船を海に降ろした  
それから、私の夢が漂流するように  
両手で海を開いた

そっと開いた波の青色で  
私の手はまだ濡れている  
指から滴り落ちる色は  
人影の無い砂浜を彩る

風が遠くから吹いてくる  
夜は寒さで身をかがめる  
私の夢は水中で死んでいく  
船の中...

In: *Viagem* (1939), Cecília Meireles  
(訳文:江口佳子)

セシリ亞・メイレーリス(1901-1964)はブラジルで女性詩人として最初にその地位を確立しました。詩人の主要なテーマは生きる世界の解釈であり、鋭い洞察力と豊かな感性で、水・海・風・夜などの自然や時に結びつけて表現します。課題の詩「歌」は、自らの夢が叶わずに幻滅するメランコリックな心情を表しています。

[Bing 動画](#)

## 2025 年度 ポルトガル語【ペア部門】

“Ditados Populares”

César Obeid

「ことわざ」

セザル・オベイジ

Quando eu brinco com palavras	ことわざの文学
Com cordel, literatura	コルデルの
Dos ditados populares	言葉で遊ぶと
Eu tenho desenvoltura	私は機転が利きます
<i>Água mole em pedra dura</i>	軟らかい水でも硬い石に何度も当たれば
<i>Tanto bate até que fura.</i>	ついには穴をあける

*Pra dizer outro ditado*

*Juro que eu não escapo*

*Nesse verso brincalhão*

*Não permito nenhum trapo*

*Brincando de grão em grão*

*A galinha enche o papo.*

別の言い方をしましょう

私は逃げないと誓います

遊び心のある一節で

どんな妥協も許しません

一粒一粒ついばめば

雌鶏は頬を一杯にする

*Esse dito, meus ouvintes*

*Vai falar de amizade*

*Que rima, mas não combina*

*Com a dura falsidade*

*Porque quem semeia os ventos*

*Sempre colhe tempestade.*

聴衆の皆さん、この格言は

友情のことを言っています

韻を踏みますが

虚偽とは調和しません

風を蒔く者は

いつも嵐を収穫するからです

*Como é bom ouvir agora*

*Da plateia essas respostas*

*Do universo do cordel*

*Sempre faço mil apostas*

*Em rio onde tem piranha*

*Jacaré nada de costas.*

平土間の皆さんからこうした反応を

ここで聞くのはなんて良いのでしょうか

コルデルの世界から

私はいつも 1000 の賭けをします

ピラニアのいる川では

ワニは仰向けて泳ぐ

E vocês, caros ouvintes  
Lembram-se de outro ditado?

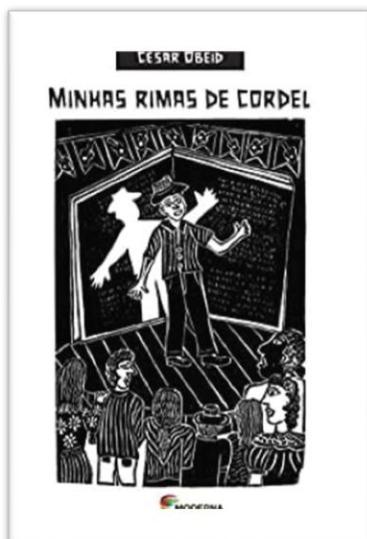
Então o coloquem em verso  
Mas que seja bem rimado.

Sejam brincalhões também  
Desse cordel encantado.

親愛なる聴衆の皆さん  
何かことわざを覚えていますか？

それでは、何か一節言ってみてください  
韻を踏んでいないとダメですよ

そして遊び心がなくてはダメです  
魔法にかかったコルデルですから



In: César Obeid, *Minhas Rimas de Cordel* (2013)  
(訳文:江口佳子)

★ポルトガル語のペア発表について

- ① 黒字と青字それぞれ担当を決める。
- ② 最後の詩句(緑字)は一緒に言う。
- ③ タイトルと作者は一人または二人で言う。

(解説) セザル・オベイジ(1974~、サンパウロ)はコルデルの詩人です。コルデルは、民衆文学の一つのジャンルで、ブラジル北東部が起源です。“細紐”という意味で、露店で紐にぶら下げて売られていることが名称の由来です。詩人才ベイジは、課題詩が収められている本の中で、「コルデルとは口承詩であり、口述され、話され、語られるために作られる。[...]ブラジルには、優れた即興詩人が全国にいる」と述べています。課題詩はブラジルのことわざが題材です。ブラジル的な要素がありますね。同じ意味を持つ日本のことわざは何でしょう？

나를 키우는 말

이해인

私を育てる言葉

イ・ヘイン

행복하다고 말하는 동안은  
 나도 정말 행복해서  
 마음에 맑은 샘이 흐르고

幸せだと言っている間は  
 私も本当に幸せで  
 心に清い泉が流れ

고맙다고 말하는 동안은  
 고마운 마음 새로이 솟아올라  
 내 마음도 더욱 순해지고

ありがとうと言っている間は  
 感謝の気持ちが新たに湧き上がり  
 私の心ももっと穏やかになって

아름답다고 말하는 동안은  
 나도 잠시 아름다운 사람이 되어  
 마음 한 자락이 환해지고

美しいと言っている間は  
 私もしばらく美しい人になり  
 心も幾分明るくなつて

좋은 말이 나를 키우는 걸  
 나는 말하면서  
 다시 알지

良い言葉が私を育てるということを  
 私はそれらの言葉を口にしながら  
 再び知るだろう

李海仁（イ・ヘイン）：1945年～、韓国の詩人、カトリック修道女。

『私を育てる言葉』は、韓国の詩人でありカトリック修道女でもあるイ・ヘイン（1945年～）による作品です。日常の中の「幸せ」「ありがとう」「美しい」といった言葉が、自分自身を癒し、育ててくれる力を持つことを優しく語っています。シンプルながら深い気づきを与えるこの詩は、読む人に心の平和と感謝を思い出させてくれます。朗読するときは、急がず一行ずつ丁寧に読み、言葉の持つ温かさや静けさを感じながら、聴く人の心にそっと届くように柔らかな声で語ると良いでしょう。特に最後の一節「私はそれらの言葉を口にしながら再び知るだろう」は、少し間をおいて余韻を持たせると、詩のメッセージがより深く伝わります。

## 2025 年度 韓国語 【ペア部門】

님의 침묵

한용운

あなたの沈黙

ハン・ヨンウン

님은 갔습니다. 아아, 사랑하는 나의 님은 갔습니다.

푸른 산빛을 깨치고 단풍나무 숲을 향하여 난 작은 길을 걸어서 차마 떨치고 갔습니다.

황금의 꽃같이 굳고 빛나던 옛 맹세(盟誓)는 차디찬 티끌이 되어서 한숨의 미풍(微風)에 날아갔습니다.

날카로운 첫 키스의 추억은 나의 운명의 지침(指針)을 돌려 놓고 뒷걸음쳐서 사라졌습니다.

나는 향기로운 님의 말소리에 귀먹고, 꽂다운 님의 얼굴에 눈멀었습니다.

(...)

우리는 만날 때에 떠날 것을 염려하는 것과 같이 떠날 때에 다시 만날 것을 믿습니다.

아아, 님은 갔지마는 나는 님을 보내지 아니하였습니다.

제 곡조를 못 이기는 사랑의 노래는 님의 침묵을 훑싸고 돋니다.

(ペアの分担は出場者が自由に決めてください。)

あなたは行ってしまいました。ああ愛する私のあなたは行ってしまいました。

青い山の光をかき分け、紅葉の森へと続く小道を歩いて、振り払って去っていきました。

黄金の光のようにかたくなに光る昔の誓いは、冷たい塵になって、ため息のそよ風に飛び去って行きました。

鋭く突き刺さる初めてのキスの思い出は私の運命の針を狂わせて、後すさりして消えてしまいました。

私は、香り立つあなたの声に耳が遠くなり、花のようなあなたの顔に目がくらみました。

私たちは、出会うときに別れをおそれるように、別れるときには、再び会えることを信じています。ああ、あなたは行ってしまいましたが、私はあなたを手放しませんでした。

あふれる調べに逆らえず愛の歌はあなたの沈黙を包み巡ります。

韓龍雲 (ハン・ヨンウン) : 1879~1944 年、韓国の詩人、僧侶。

『님의 침묵 (あなたの沈黙)』は、ハン・ヨンウンが 1926 年に発表した詩集の表題作であり、韓国文学を代表する抒情詩のひとつです。仏教思想と恋愛感情が融合されたこの詩では、「님 (あなた)」という存在との別れを通して、喪失、哀しみ、そして再生への祈りが描かれています。ここでの「님」は恋人だけでなく、祖国や仏を象徴するとも解釈され、多層的な意味を持ちます。朗読の際は、感情を抑えつつも、一語一語を丁寧に、沈黙の余韻が残るように読むのが適しています。とりわけ「아아, 사랑하는 나의 님은 갔습니다 (ああ、愛するあなたは行ってしまいました)」のようなフレーズは、深い喪失感と諦念をこめて読み上げると、聴く人の胸に深く響くでしょう。